

8月

新着図書

御庭番耳目抄 まいまいつぶろ

著者名:村木 嵐
出版者:幻冬舎



麻痺を抱え、廃嫡も噂されていた九代将軍・徳川家重と、彼の言葉を唯一聞き取ることができた側近の忠光。二人の固い絆を描き、日本中を感涙の渦に巻き込んだ『まいまいつぶろ』から一年。徳川吉宗の母・浄円院の口から出た孫・家重廃嫡の真意とは。老中首座を追われた松平乗昌が向かった先は。家治が父・家重の言葉を聞き取れなくなった理由。折り紙一枚も受け取るなど命懸けされた忠光の妻・志乃の胸の内。そして、全てを見てきた隠密、万里が最後に会いに行った人物とは…。

魔女の後悔

著者名:大沢 在昌
出版者:文藝春秋



“魔女”シリーズ、9年ぶり待望の最新作!「ねえ、“親の因果が子に報い”って、信じる?」闇のコンサルタント・水原の前に現れた一人の少女。その亡父は、韓国政財界を震撼させた巨額詐欺事件の主犯だった。複数の勢力に追われる少女を警護する水原だが、彼女との思わぬつながりを突き付けられる。

ツミデミック

著者名:一穂 ミチ
出版者:光文社

第171回直木賞受賞

大学を中退し、夜の街で客引きのバイトをしている優斗。ある日、バイト中に話しかけてきた女は、中学時代に死んだはずの同級生の名を名乗った。過去の記憶と目の前の女の話を戸惑う優斗は—「違う羽の鳥」。調理師の職を失った恭一は、家に籠もりがち。ある日、小一の息子・隼が遊びから帰ってくると、聖徳太子の描かれた旧一万円札を持っていた。近隣に住む老人からもらったという。翌日、恭一は得意の澄まし汁を作って老人宅を訪れると—「特別縁故者」。渦中の人間の有様を描き取った、心震える全6話。稀代のストーリーテラーが放つ、鮮烈なる犯罪小説集。

首木の民

著者名:菅田 哲也
出版者:双葉社



大学の客員教授、久和が窃盗と公務執行妨害の容疑で逮捕された。運転する車の中から、血の付いた他人の財布が発見されたのだ。久和は内閣府が設置する経済財政諮問会議に参加したこともある経済政策通だが、警視庁志村署の佐久間に対し「公務員を信用していない」と言い、取調べは進まなかった。一方、財布の持ち主を捜していた志村署の中田は、フリーライターの菊池に行き着く。菊池は交通事故を探っていたが、その事故には財務省のある人物が絡んでいた。

室町ワンダーランド あなたの知らない「もうひとつの日本」

著者名:清水 克行
出版者:文藝春秋



500年前の日本は何でもあり!都の路上でバクチに乱闘、琵琶湖に海賊。目からウロコの日本史エッセイ。

赤と青のガウン オックスフォード留学記

著者名:彬子女王
出版者:PHP研究所



女性皇族として初の博士号取得。瑞々しい筆致で綴られた留学の日々。

きこえる

著者名:道尾 秀介
出版者:講談社

本作は、音声と小説を融合させた誰も経験したことのない「体験型ミステリ」です。小説を読み進めると、作中の様々なタイミングで「二次元コード」が登場します。そのコードを読み取り、音声を再生してください。それはあなたを新しい世界に連れて行ってくれる「音」です。真相を「聞いている」のはあなただけ。音声×小説が世界を広げる。まったく新しいミステリ、誕生。

地雷グリコ

著者名:青崎 有吾
出版者:KADOKAWA

高校生の射守矢真兎が挑む5つの勝負。騙しと理詰めが勝利を導く。『11文学の檻』の著者による究極の頭脳戦。2024年 第77回 日本推理作家協会賞受賞、2024年 第37回 山本周五郎賞受賞、2024年 第24回 本格ミステリ大賞 小説部門受賞

能面検事の奮迅

著者名:中山 七里
出版者:光文社

学校法人に対する国有地払い下げに関して近畿財務局職員の収賄疑惑が!大阪地検特捜部が捜査を始めるが、今度は担当検事による文書改竄疑惑が浮上する。相次ぐ不祥事に最高検から調査チームが派遣され、一般検事の不破俊太郎も特捜部の調べに加わることに。どんな圧力にも表情を変えぬ“能面検事”が、事務官の惣領美晴とともに難事件の真相を追う!

60歳からの知っておくべき経済学

著者名:高橋 洋一
出版者:扶桑社



正しい経済知識があなたを守る!財政の仕組み、税金、保険、年金、暗号資産、家の購入…。

8月

新着図書

物理学者のすごい日常

著者名:橋本 幸士
 出版者:集英社インターナショナル



『物理学者のすごい思考法』がパワーアップして帰ってきた。最寄りの駅から京都大学まで、雨に濡れないで到達できるのか。碁盤の目のような街で、どの時間なら陽に当たらずに歩けるか。隣の席の貧乏ゆすりを、自分の貧乏ゆすりで相殺できるのか。日常生活のすべてを「物理学的思考法」の対象にしてしまう橋本教授。本文に登場する物理学用語の解説コラム、関連書籍の紹介もつき、実用性も抜群。いま最もホットな物理学者による、スーパー科学エッセイ。

肩こり・五十肩・腱板断裂肩の痛みがよくなる
すごい方法

著者名:歌島 大輔
 出版者:Gakken



日本の国民病肩痛改善の新常識。1分うちわをおぐだけ！

娘が巣立つ朝

著者名:伊吹 有喜
 出版者:文藝春秋



娘がセレブな婚約者を家に連れてきた！誰も避けては通れない、お金と家族の悲喜こもごも。格差婚、役職定年、夫の不機嫌…問題は次から次へとやってくる。

心に効く美容

著者名:MEGUMI
 出版者:講談社

どんなにキレイな服を着てメイクをしても、心がくすんでいては、本当に美しいとは言えません。元気がないときにおすすめなのは、心の外側からのアプローチ。気力だけで元気になるのはやめて、動き出してみる。私も悲しいことがあればしっかり落ち込むし、気分のムラだってあります。この本では私がこれは効いたと感じた「心に効く美容法」を紹介します。

血液と体の「あぶら」を落とすスープ 内臓脂肪
中性脂肪コレステロールがみるみる落ちる

著者名:五藤 良将
 出版者:アスコム



スープを飲んで血管をやわらかく、血液をサラサラに。中性脂肪と内臓脂肪にサヨナラ！食材のパワーを凝縮！おなか周りが気になる人はぜひ1日1杯飲んでください。

消費される階級

著者名:酒井 順子
 出版者:集英社



あの人より、上か、下か—「差別や格差を無くして、様々な違いを持つ人々が全て横並びで生きていきましょう」となった昨今、表面上は序列、区別、差別は消えたものの、姿を変えた「凸凹」は、いまだ世の中のあちこちに。『負け犬の遠吠え』『下に見る人』『男尊女子』『家族終了』など、時代を切り取る名著の書き手が、日本人の根深い階級意識をあぶり出す。

